

おかつはっけい 「岡津八景」を歩こう

岡津八景とは

江戸時代に「岡津八景」という和歌集が、岡津で作られました。この和歌集は、近江八景や金沢八景になぞらえて、その地域の地名を織り込んで七五調の和歌にしたもので、と云っても岡津町内の全てが詠いこまれているわけではありません。

風光明媚で、詩としてまとまりやすい意味の通じる地名が選ばれていると、云つた方が良いかも知れません。現在の地域でいえば、阿久和川周辺の岡津町、緑園、西が岡、桂坂、領家辺りが範囲です。

作者は、向導寺の縁続きの地蔵堂にいた信教和尚と云われています。



岡津町景の秋をそぞろん石碑が永明禪寺の
前の石碑建後(株)の私地跡とあります。
併し、先づの石碑が石碑金(かね)の建立とあります。
あります。

注:

- 1) 八景の各々の場所は、○で示しておりますが、これはあくまでもお見せ用です。
- 2) 和歌は文書通り、多少ニヤリと異なるものがあります。
- 3) 例文は、⑤領家の清音では、…行けば…あります、石田達(さとだつ)は…見行…とあります。
- 4) タイトル等において番号は単純な歌番と表記しております。

参考資料

- ① 2014年4月5日 社会福祉協議会主催の向導会で発行した資料
② 阿久和川の全編り 阿久和の歌集めちゅ 1993年1月25日発行
③ 石田達(さとだつ)花田(はなだ)岡津へ来の石碑

